

PRESS RELEASE



多機能型通所施設
クローバービーンズ



2025 年 12 月 24 日

報道関係者 各位

-群馬大学情報学部×医療的ケア児通所施設クローバービーンズ×旭川医科大学 共同事業-
2面投影コンテンツ体験会を行います。
外出が難しい医療的ケア児が投影に基づく VR 技術で恐竜の調査・捕獲を体験します。



2面投影コンテンツ例（写真は海の風景を投影した場合）

■日時

2025年12月26日（金）10時30分～

■場所

多機能型通所施設クローバービーンズ（群馬県高崎市中豊岡町100-1）

※お車はあらかじめクローバービーンズ（担当：高橋）にご相談ください。

■内容

群馬大学情報学部では実社会の課題に対して文理融合の学問を応用して解決を図る融合型 PBL という授業を実施しています。この中の1つのテーマでは、「投影技術を利用した医療ケア児看護」を題材に、クローバービーンズ、旭川医科大学の協力のもと、情報学部の学生4名が中心となって医療的ケア児の看護を目的とした2面投影コンテンツを作成しています。

今回、病気や医療的ケアによって外出がなかなかできない子どもたちが、架空の組織「ビーンズ恐竜研究所」の一員となり、VR 技術で群馬の各地を巡りながら足湯の体験や恐竜の搜索・捕獲を行う体験を通して子どもたちの笑顔を増やしていく体験会を行います。

なお、参加者には取材の可能性のある旨あらかじめ連絡してあります。

■群馬大学情報学部

群馬大学情報学部は、文理融合の教育研究組織として 2021 年に設置されました。データサイエンス・コンピュータサイエンスと、それらの分析対象である社会や人の理解という両側面から現実の諸問題にアプローチします。

■多機能型通所施設クローバービーンズ

クローバービーンズは 2020 年に高崎市内に、「どんなに病気や障がいが重くても、子供らしく楽しい時間を過ごせるよう」という思いで、高崎市内に誕生した多機能型通所施設です。

看護師をはじめ、経験豊富な専門のスタッフが、お子様ひとりひとりの個性や特性を大切にしながら、医療的ケアや健康管理、療育を行うところです。まだ県内も数の少ない、重症心身障害児および医療的ケア児を対象とする施設です。

対象者

- 児童発達支援（未就学障がい児）
- 放課後等デイサービス（就学障がい児）
- 生活介護（18歳以上の障がい児）

定員

合計5名
（児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護 合わせて）

送迎

車椅子対応の送迎車をご用意しております。
送迎可能地域はお問い合わせください。

例えばこんな

CLOVER BEANSの1日

- 10:00 お迎え・お出迎え
- 11:00 予定確認・申し送り・健康確認etc
- 11:30 個別療育・運動療育・清潔援助etc
- 12:30 お昼ごはん
- 13:30 リラクゼーション・自由あそび
機能訓練etc
- 15:00 おやつ・水分補給etc
- 16:00 お迎え（お送り）



■旭川医科大学医学看護学科

旭川医科大学医学部看護学科では、北海道の北部と東部に位置する地域において、地域包括ケアを担う人材の育成を目標に、看護師・保健師・助産師教育を行っています。臨地実習では、本学附属病院の臨床看護師による実践的指導に加え、理学療法士や作業療法士、他部門を含む多職種との連携を学びながら、高度な専門能力の育成を図っています。

本件に関するお問い合わせ先

◆群馬大学情報学部や技術内容に関するお問い合わせ先

群馬大学情報学部 教授 奥 寛雅

TEL : 090-4126-0622 E-mail: h.oku@gunma-u.ac.jp

群馬大学情報学部広報担当 副事務長 倉沢良徳

TEL : 027-220-7402 E-mail: y-kura@gunma-u.ac.jp

◆実施場所や当日の取材方法等に関するお問い合わせ先

多機能型通所施設クローバービーンズ 管理者 高橋祐貴

TEL : 027-329-6391 E-mail : info@n-clover.jp

◆旭川医科大学や VR の小児看護応用に関するお問い合わせ先

旭川医科大学看護学講座 准教授 荻原 弘幸

TEL : 0166-68-2936 E-mail: h-ogihara@asahikawa-med.ac.jp

旭川医科大学総務課広報・社会連携係

TEL : 0166-68-2118 E-mail: kouhou@asahikawa-med.ac.jp